

# 謹賀新年

東京眼科病院長  
ドクトル井上豊太郎氏著

## 通俗強眼法

● 第三版  
● 價廿錢  
● 郵稅四錢

氏は眼科に、尤も知られたる人本書の内容に就ては多言を要せず、其名の示すが如く尤も通俗平易に其新療法を説明せり  
米國体育家ベীগマン氏著

東京朝日新聞記者杉村廣太郎氏譯

## 強肺術

増補第十三版  
訂寫真數葉  
價三錢  
郵稅四錢

肺病を恐るゝ者は讀め、肺病に罹れる者は讀め  
嗽米に於ける最新式體力養成法を讀め此書に四つの特徴あり

- 第一費用を要せざること
- 第二時間を要せざること
- 第三場所を要せざること
- 第四勞力を要せざること

是なり故へに男子は勿論婦人小兒と云へども容易に行ひ得べし  
ドクトル坂田實氏著

## 健腦法

○ 訂正八版  
○ 價十五錢  
○ 郵稅四錢

此の健腦法によりて救はれたる人、已に幾千萬讀者諸君がこれに依つて益するところの大なるは素より言を待たず簡明適切なる健腦強腦の新法は即ち本書に詳述せり

文學士清澤滿之先生著 六版

## 精神講話

定價三拾錢  
郵稅四錢  
郵券代用二割増

精神修養に關する自己の經濟を講じたるものを集めて一冊子としたるを本書とす  
故に本書に向ひて高尚なる議論や、難澁なる理談を望む者は恐らくは、何等の得る處なからしむ

されど眞摯に自己の精神の修養に心かくる者、又は熱心に内心の安住を求むる者、一度本書を讀まば、其所得蓋し尠からざるべし  
ともかくも本書は著者が精神上に實行しつゝ、あつたことを記したるものなるが故に、本書を讀む者亦精神を以て讀むべきなり  
金森通倫氏著

## 貯金のすゝめ

● 第十一版  
● 價廿八錢  
● 郵稅四錢

發行以來十七万部を賣盡せり  
文學博士井上哲次郎氏著

## 釋迦牟尼傳

● 第十四版  
● 價六十錢  
● 郵稅十錢

文學博士高瀬武次郎著

## 王陽明詳傳

● 第三版  
● 價七十錢  
● 郵稅十錢

每月三回發行

## 家庭新聞

一部三錢五厘  
郵稅五厘

家庭及清光を合併改題せり

# 心の花

編輯主幹 佐々木信綱

第十卷第二 (二月一日發行)

- 敵襲
  - 未開人種の歌
  - 万葉集中の花
  - 喜劇新式教授法
  - 嫁入車(小説)
  - 忘れられたる冬の鳥
  - 文話 一枝管見
  - 桂園
  - 貝塚
  - 譯詩(アーノルド)
  - 翹翹
  - 凱旋(脚本)
  - 蝦夷(脚本)
  - 狂夫吟
  - かると會
  - 竹柏園近詠
- △每號課題あり投稿を歓迎す  
 △定價一冊金拾三錢 半年金七拾五錢

日本橋區本石町一ノ二

竹柏會出版部

森井理學博士 坪井盛廣  
 鴻巢盛廣 藤澤文盛  
 大塚楠緒子 小杉文學博士  
 井上通泰 小金山喜美子  
 河原錦村 吉野雨城  
 新井雨泉 不破古思郎  
 川田千信 石捕田千信  
 佐々木信綱

# ▲新年の最好施本▲

## 戰勝國民の覺悟

定價金二錢五厘  
 郵稅 金一錢  
 四冊迄

今や平和克復に際し戦後の經營等教育家の最も用意すべきもの多し、戦捷の新年に當り擅信徒へ贈物として好適切の施本なり

## 軍國の民

定價金二錢五厘  
 郵稅 金一錢  
 四冊迄

日露戦役は空前の大捷にして國民の永く記念とすべきもの戰勝國民の將來を指導せんと欲せば先づ本書の施本に優るものなし

## なぐさめ草

定價金八錢  
 郵稅 金二錢

項目○九重雲○若葉○歌○詩○新体詩○赤心微涓○紫電白光○納涼台等にして當代知名の文士の麗筆に成れるもの凱旋の進物として頗る美裝のスケッチなると同時に新年の施本として極めて妙以上三種は新年施本用には五十部以上割の法あり至急申込われ

東京小石川區大塚坂下町十七番地

發賣所 加持世界社

# 本社發賣書目

弘法大師	根嶺の曙	釋雲照	傳道指針	上宮太子實錄	心的生活英雄史	死生觀	運命觀	女性能觀	禪觀錄	修養と研究
------	------	-----	------	--------	---------	-----	-----	------	-----	-------

定價金三錢 郵稅 金二錢 四冊迄	定價金九錢 郵稅 金二錢 二冊迄	定價金十錢 郵稅 金五錢	定價金二十錢 郵稅 金十錢	定價金七十五錢 郵稅 金十五錢	定價金五十錢 郵稅 金五錢	定價金三十錢 郵稅 金五錢	定價金三十錢 郵稅 金五錢	定價金三十錢 郵稅 金五錢	定價金三十錢 郵稅 金五錢	定價金五十錢 郵稅 金十錢
------------------------	------------------------	-----------------	------------------	--------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

東京小石川區大塚坂下町十七番地

發賣所 加持世界社

# 本誌 特色

通俗で高尚でそして實用許り  
やさしい文章で面白い書き方  
質問隨意返事は親切で分る迄

# 新年號

紙數多く、記事豊富  
口繪は、優美で奇麗

是非共、一冊讀んで、ごらんなさい

第一第一  
第二第一  
卷號 行發日一月一

# 明治の家庭

定價 一冊六錢  
六冊郵稅共卅三錢  
十二冊一年分六十錢  
郵券代用一割増

- かいしいね…………… 口 繪
- 年始の子供の歌…………… 村上白虹
- 手近かな身の修め方…………… 石見龍二
- 電車の罪か子供の罪か…………… 梓 柳 生
- 幼稚園を嫌ふ兒…………… 老 保 姆
- 須知中佐未亡人の談…………… 守田秋香
- 寝いじりをする子供…………… 小兒科博士 三島通良
- ひゝわかぎれの豫防法…………… ドクトル 青木大勇
- 剛情の子供へのお伽噺懸賞一等文科大學吉川衣水
- 英國人の女中を雇ふわけ…………… ハラード女史
- お嬢様の即席献立…………… 大塚ちか子
- 子供の育て方…………… 人に囁みつく子●物の名を逆云ふ子  
●齒磨粉につき●妊婦と二階●しもやけ  
●の子●其他澤山
- 羽子板につき母様に…………… 東洋幼稚園長 岸邊 福雄  
(質問澤山●返事面白し)
- 家事のいろ…………… 日本割烹學會主 石井泰次郎
- 春のご馳走…………… 小寺秋雨
- うれしいね花子さん…………… 優等拾圓
- 第三回懸賞お伽噺募集…………… 雜報

明治の家庭  
寶文館

東京市牛込區納戸町六  
東京日本橋區本石町三

發行所  
發賣所

電話二二三  
局本三

# 護賀新乘

日一月一年九十三治明

## 目概品賣販

- 一 保險附山葉製風琴、洋琴
- 一 舶來洋琴並に風琴
- 一 鈴木製ヴァイオリン
- 一 舶來ヴァイオリン
- 一 樂隊用吹奏樂器各種
- 一 手風琴、フラジヨール
- 一 戰捷紀念國旗印銀笛
- 一 和洋音樂書各種
- 一 洋琴風琴調律修繕應需
- 一 郵券貳錢御送付目錄進呈

地番三十町川竹區橋京市京東  
 店器樂社商益共社會資合  
 番九十二百五橋新話電

明治三十四年二月廿八日  
 內務省許可  
 第三種郵便物認可